

JEITA 国際戦略・標準化セミナー ～スマートなヒューマンライフと標準化活動～

- 主催：標準化政策委員会／国際標準化戦略研究会
- 担当部署：知的基盤部
- 参加者数：約170名

概要

JEITAでは、日本の電子情報産業の戦略的な国際競争力の強化に向け、積極的に標準化事業に取り組んでおります。今回はCEATECの開催期間に合わせて、「スマートなヒューマンライフ」をキーワードとして一般公開のセミナーとして開催致しました。国際戦略に合致した標準化活動が企業の事業・経営に欠かせない重要な活動であることを様々な分野で活躍されている有識者のご講演を通じ、改めて共有させていただきました。



プログラム

○「国が推進する産業振興・発展のための国際標準化政策について」

経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課 統括基準認証推進官 辻本 崇紀 氏

新市場創造や企業の競争力強化に資する「標準化」に関して、官民が連携して取り組むべき具体策を標準化戦略として策定するため「標準化官民戦略」が策定されました。国際標準化を我が国が主導していくためには、人材の育成、国際的な連携や認証との一体的推進について、官民が協力して中長期的に取り組んで行く必要があります。国の政策について紹介いただきました。

○「スマートホームの通信技術の現状」

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授 丹 康雄 氏

スマートホームにおける各種通信規格やその他関連動向について紹介いただきました。

将来、宅内機器と宅外の情報基盤をつないで各種の新サービスが提供されることによって、人々のライフスタイルは、大きく変革していくことが期待されます。

その将来展望と現状、普及に向けての課題についてご講演いただきました。

○「スマートコミュニティに基づいた社会システムの実現と標準化」

独立行政法人 産業技術総合研究所 統合知能研究 グループ長 谷川 民生 氏

東日本大震災後、エネルギーマネジメントの重要性が高まり、一般家庭へのHEMSの普及促進が求められています。普及の鍵を握る「標準化」の現状と課題について、産業技術総合研究所におけるいくつかのプロジェクトをご紹介いただくとともに、今後の取り組みについてご講演いただきました。

○「医療・ヘルスケア事業のグローバル化と国際標準化」

倉部 勇一 氏（日本光電工業(株) 技術戦略本部 基本技術部 標準化推進担当 課長）

医療・ヘルスケア領域での成長戦略が策定され、国内産業育成と輸出に向けた政策が行われています。IEC TC62（医用電気機器）では、2011年に「メディカル」から「ヘルスケア」を含むようスコープを拡大し、ソフトウェアやネットワークに要求される安全・セキュリティ、さらには、生活環境支援（AAL：Active Assisted Living）分野等への関心が高まっています。

日本企業がヘルスケア分野でグローバルに事業展開する際のビジネスと標準化戦略についてご講演いただきました。